

地域診断における課題の抽出

～高齢者健康実態調査の取り組み～



鳥取県琴浦町役場
地域包括支援センター

藤原静香

こんにちは 鳥取県琴浦町です



琴浦町の概要





琴浦町のサービス内容

琴浦町(H21.10.1現在)

総人口	19,508人
65歳以上	5,904人
75歳以上	3,352人
世帯数	6,390
高齢化率	30.3%
認定率	18.9%
総面積	139.88 km ²

<医療>

有床診療所	1カ所(15床)
無床診療所	12カ所
歯科診療所	6カ所
通所リハ	1カ所(40人)
通所介護	1カ所(80人)
訪問看護	2カ所
グループホーム	1カ所(2単位)

<福祉>

介護老人福祉施設	2カ所(140人)
ケアハウス	2カ所(80人)
通所介護(併設)	2カ所(100人)
通所介護(単独)	2カ所(80人)
身障デイサービス	2カ所(23人)
短期入所介護	2カ所(30人)
グループホーム	2ヶ所(3単位)
訪問介護	2カ所
訪問看護	1カ所
訪問入浴	1カ所

<保健>

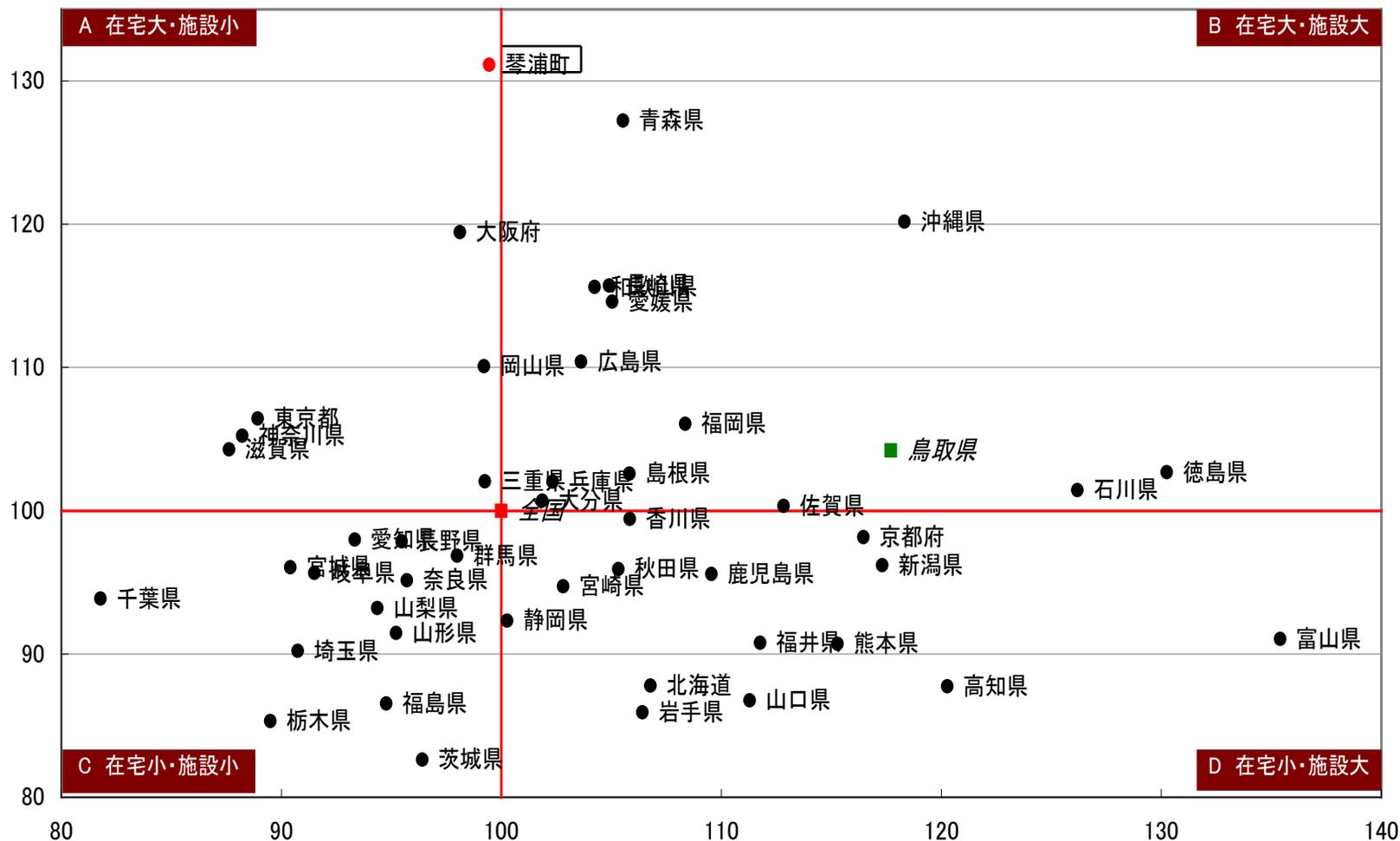
保健センター	1カ所
地域包括支援センター	1カ所
介護支援専門員	6ヶ所(29人)

<民間>

グループホーム	1カ所(2単位)
通所介護	1カ所(40人)
訪問介護	1カ所

指標C 高齢者1人当たり在宅サービス・施設サービス給付指数(平成21年04月)

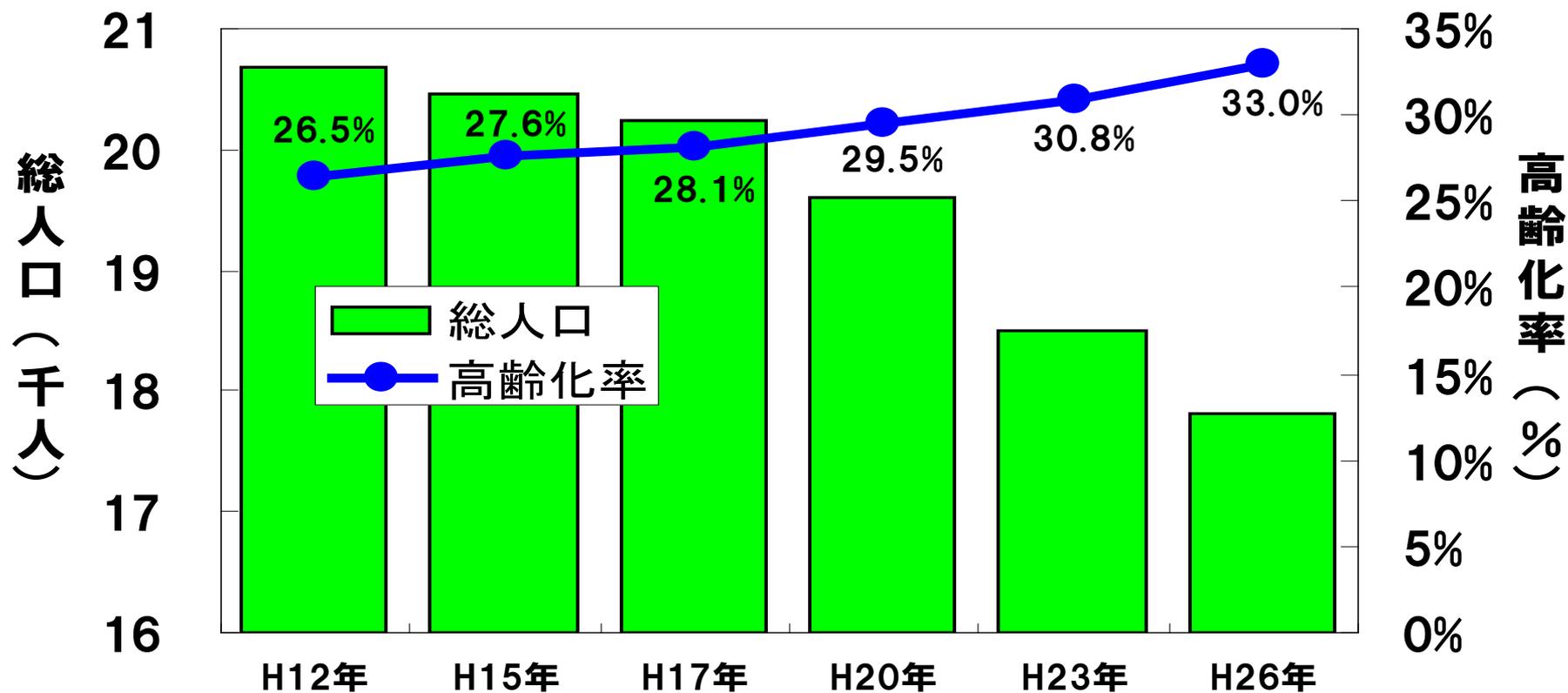
在宅サービス(地域密着含む)給付指数



施設サービス(補足給付含む)給付指数



琴浦町の人口と高齢化の推計



琴浦町の現状

1) 琴浦町の人口

19,508人 (平成21年10月1日現在)

2) 65歳以上の人口

5,904人 (全人口の30.3%)

3) 65歳以上の人のなかで介護保険の認定を受けている人

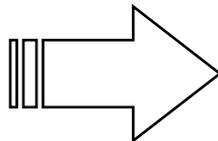
1,115人 (65歳以上の約18.9%)

4) 介護保険料 月額4,500円

介護予防で高齢者が元気な町を目指す

現状と将来予測

高齢化率30%超
今後も増加

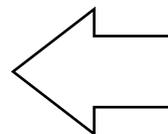


高齢者人口増加の影響

- ・要介護認定者の増加
- ・介護給付の増加
- ・介護保険料の増加
- ・財政負担の増加

高齢者人口が増えても

- ・介護を必要とする人が増加しないこと
(リスクを回避、排除)
- ・元気な高齢者を増やす
(健康寿命を延ばす)



介護予防

琴浦町として介護予防をどのように取り組むか

高齢者健康実態調査

平成17年・20年

琴浦町独自の高齢者実態調査を実施

- 調査対象者
65歳以上で介護認定を受けていない者
- 調査時期
17年・20年 7月～8月の同時期
- 調査方法
老人クラブ役員に調査票の配布と回収を依頼した

※定期的に実施することにより、事業評価の基礎資料とする

高齢者健康実態調査の目的

- ① 基本チェックリストは、介護予防が必要な方を早期に発見し介護が必要な状態を未然に防ぐためのものであり、予防事業に参加をお勧めします。
- ② どのような活動に参加された方が、寝たきりや認知症を予防できるかを明らかにします。
- ③ 次期介護保険計画策定に向けて、町で今後の有効な介護予防の事業を検討するためです。

※老人クラブとの連携と老人クラブの活動活性支援という側面もある

高齢者健康実態調査の内容

「基本チェックリスト」に次の15項目を追加

1. あなたの住まいの地区はどこですか。
2. あなたの家族構成はどれですか。
3. あなたはふだん、健康だと思っていますか。
4. 日中おもに、どなたと過ごしますか。
5. 尿を漏らしやすいために、外出を控えることがありますか。
6. 便通は毎日ありますか。
7. 一日にどれくらいの水分を摂りますか。(食事は含まない)
8. 歯磨きは一日何回しますか。
9. あなたは、趣味、楽しみ、好きでやっていることがありますか。
10. 親しくおしゃべりをしたり、往き来するお友達はいますか。
11. 家族の中でできた役割・仕事(家事、庭の草取りなど)はありますか。
12. あなたが現在参加している地域活動について当てはまるものはどれですか。
13. あなたが現在利用している介護予防サービスはどれですか。
14. 次のうち今までかかったことのある病気はどれですか。
15. 生活について困ったときの相談相手はだれですか。

高齢者健康実態調査結果

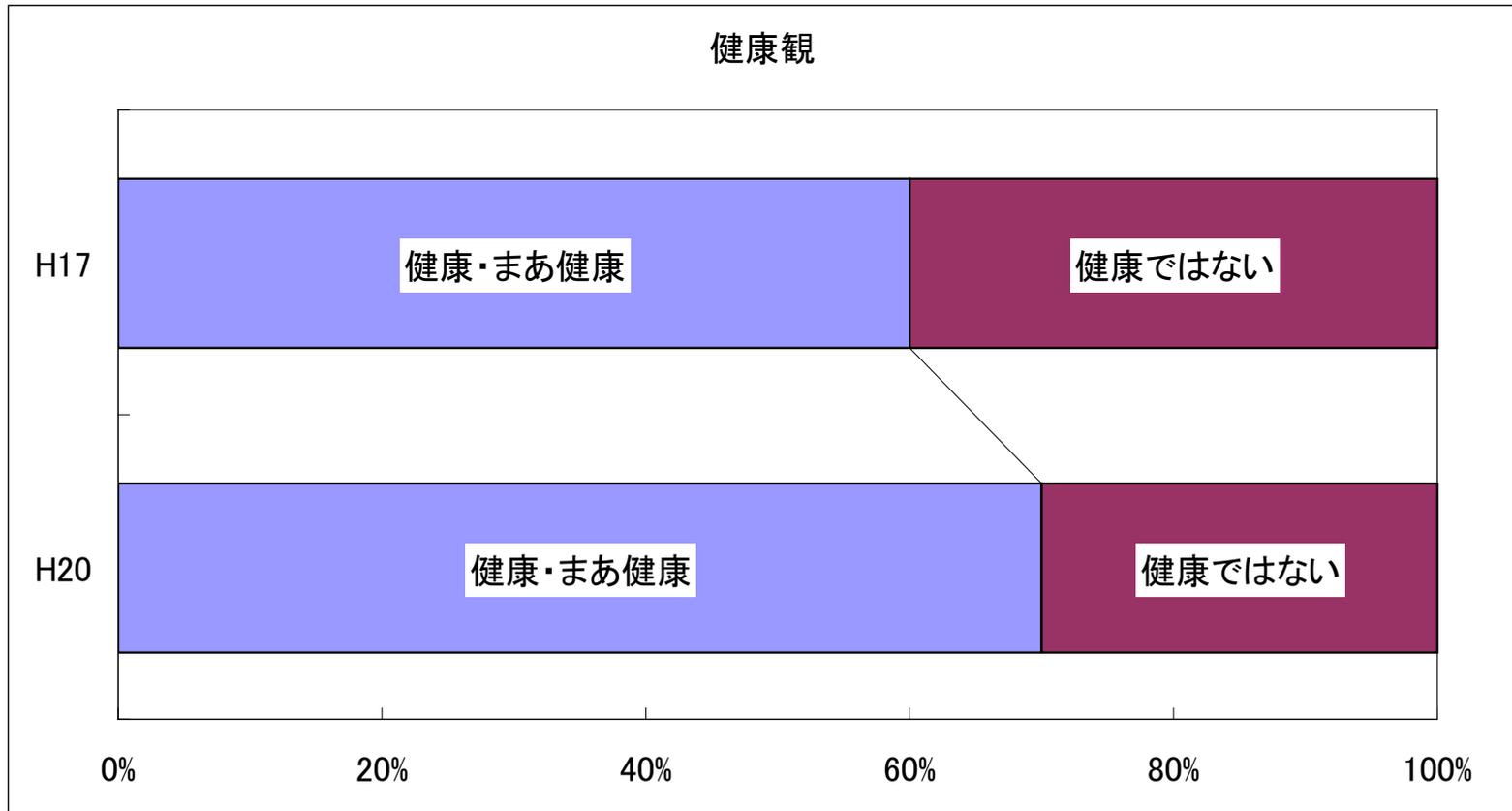
- 配布者数 4,827人
- 回収者数 4,335人
- 回収率 89.9%

老人クラブによる回収率 90.6%

郵送による回収率 65.1%

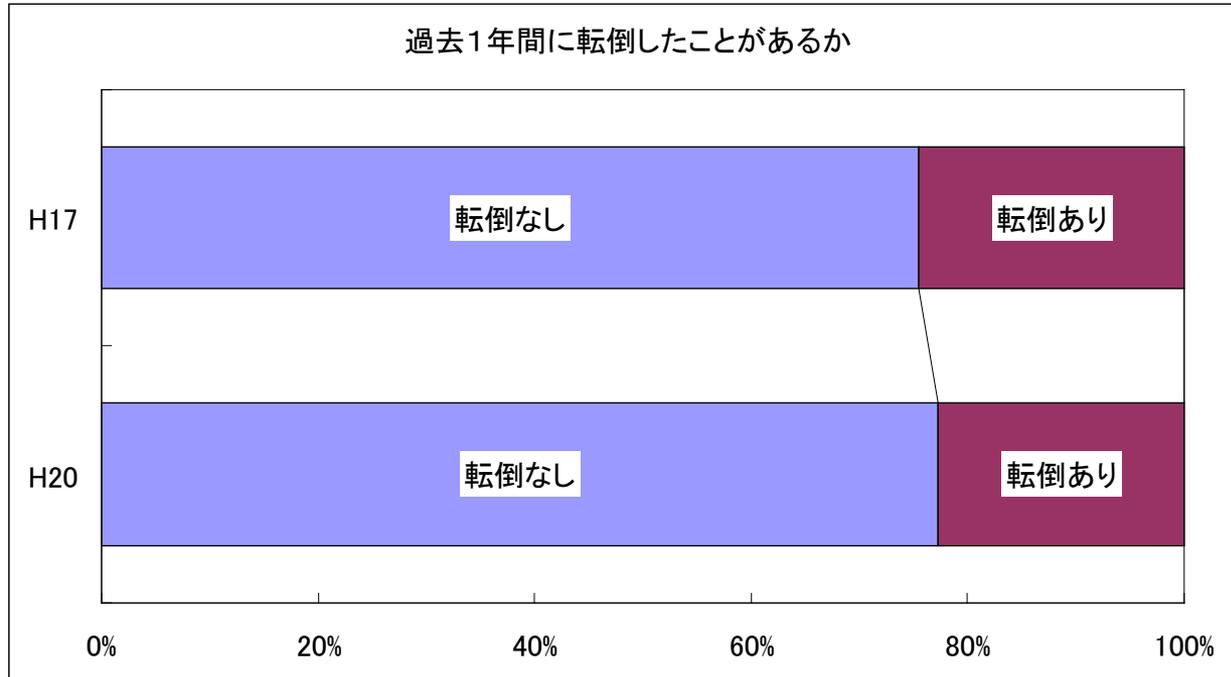
(老人クラブのない集落は郵送)

健康観



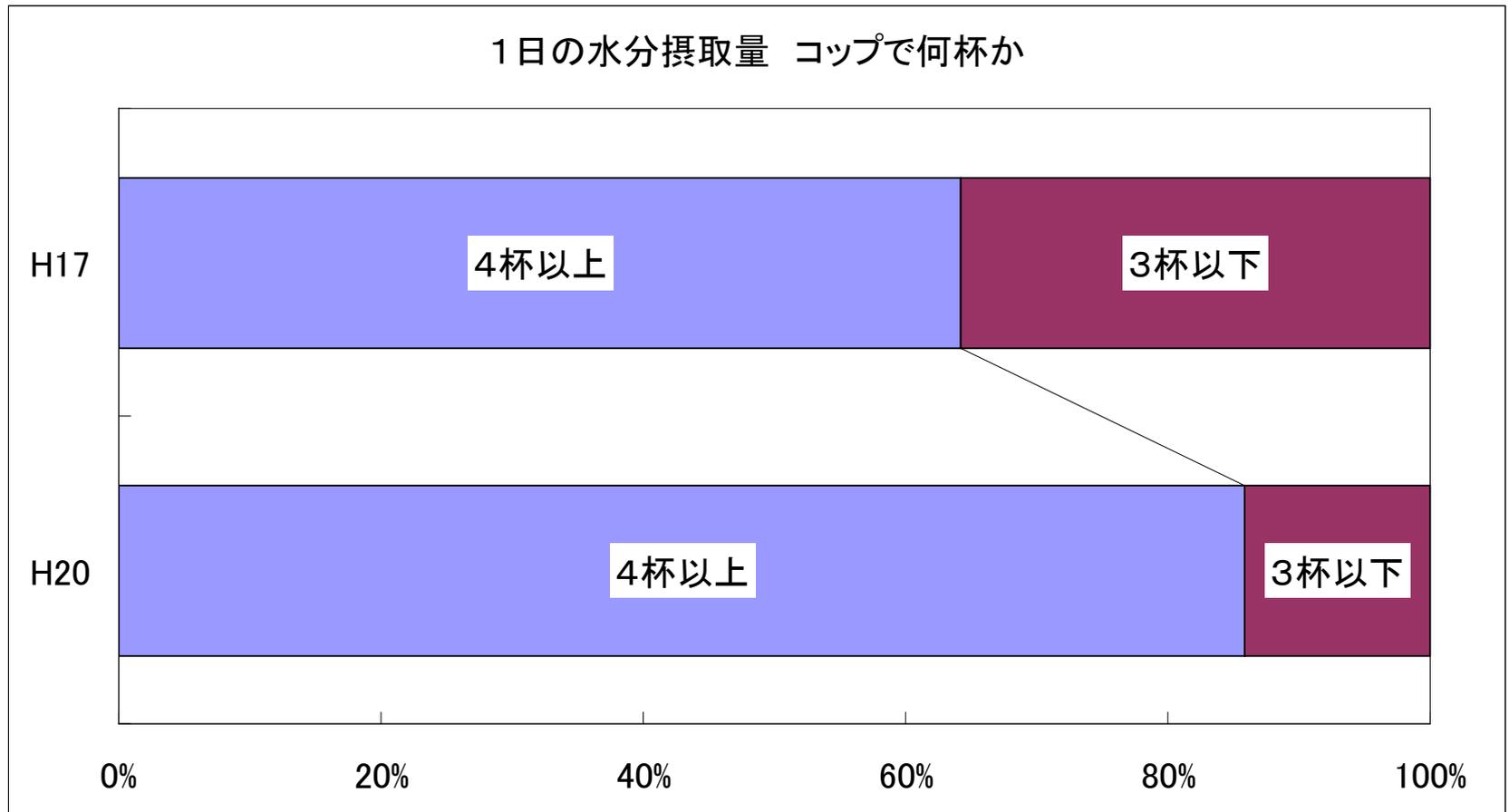
・前回調査と比較して、健康感が向上している。

一年間の転倒



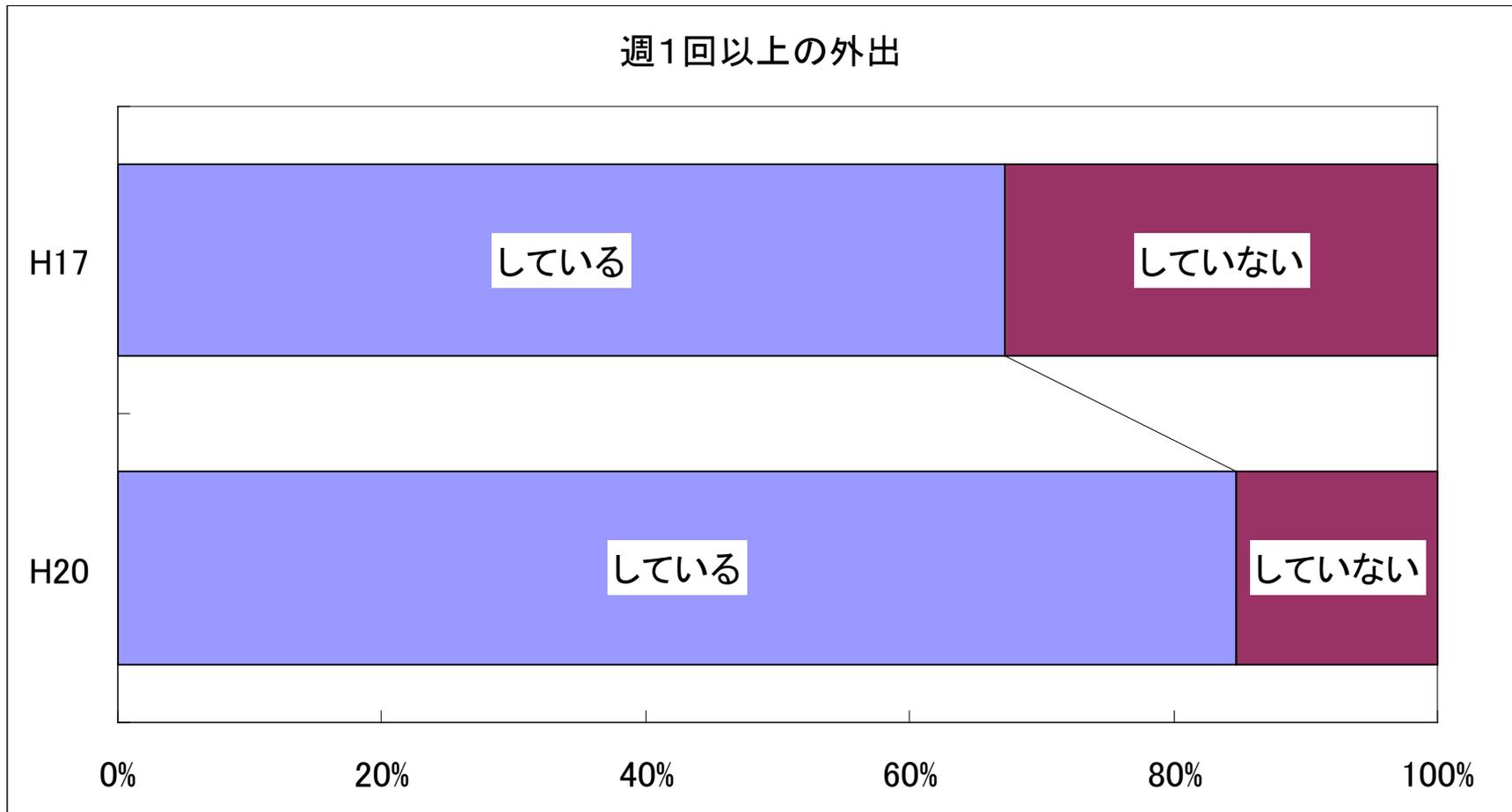
- ・前回調査と比較して、転倒ありが減少傾向にある。

一日の水分摂取量



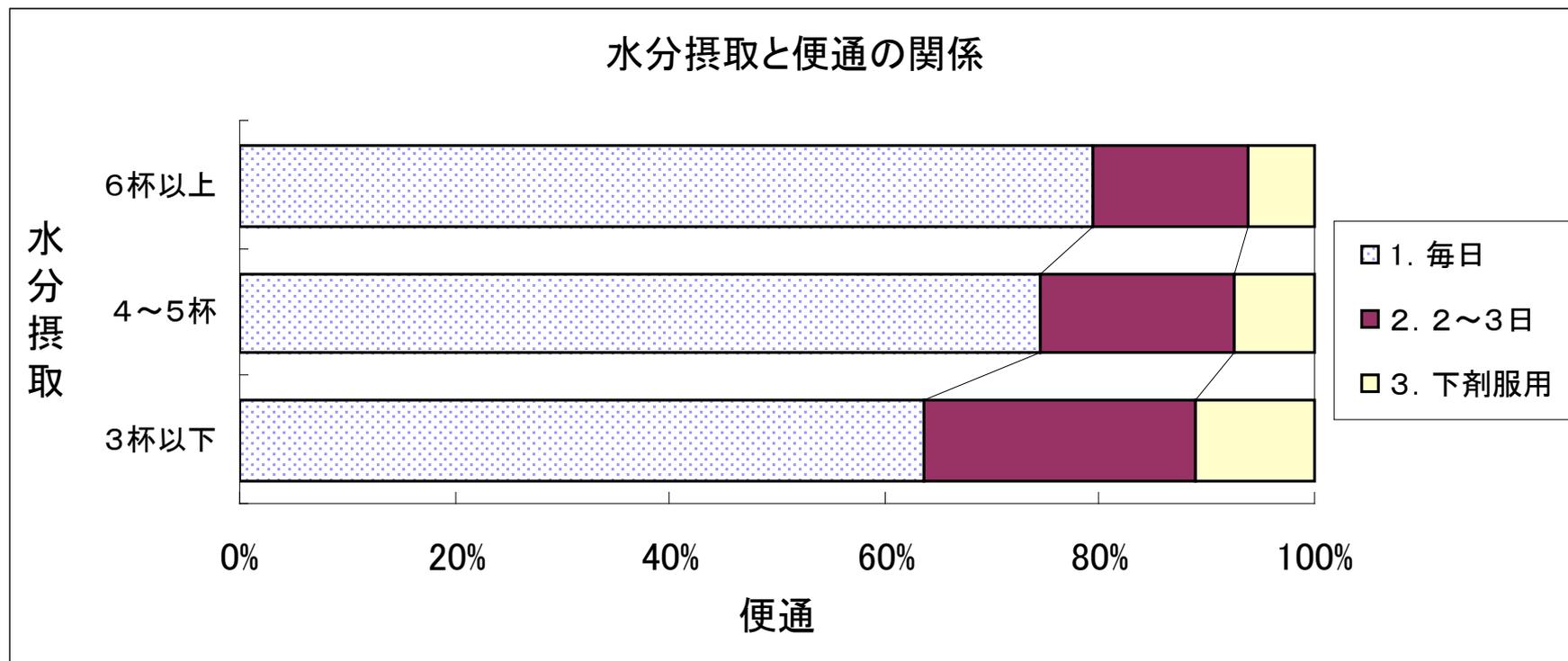
- ・前回調査と比較して、水分摂取が少ない状況が改善されている。

閉じこもり



・前回調査と比較して、閉じこもりの人が減少している。

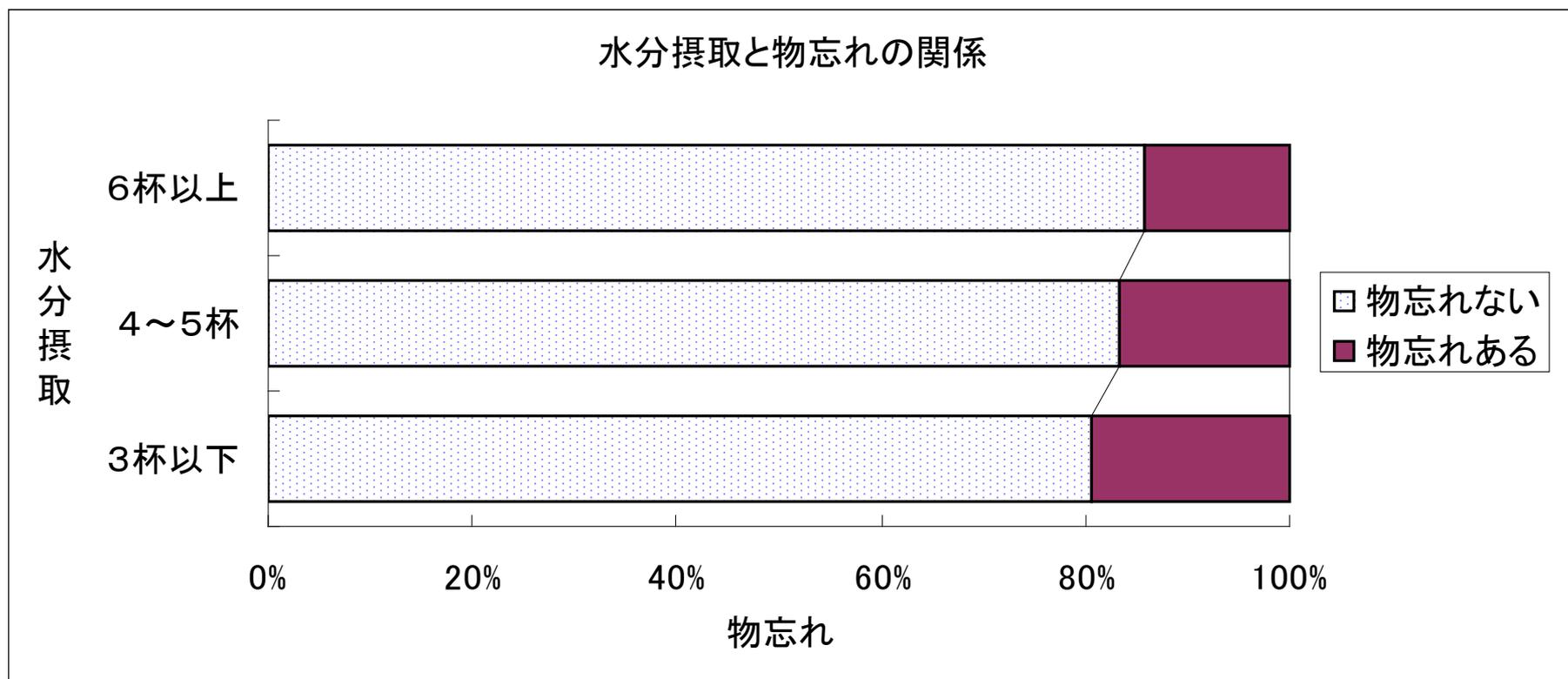
水分と便通の関係



・水分摂取を多く取る人ほど「毎日便通がある」。

有意差あり($p < 0.05$)

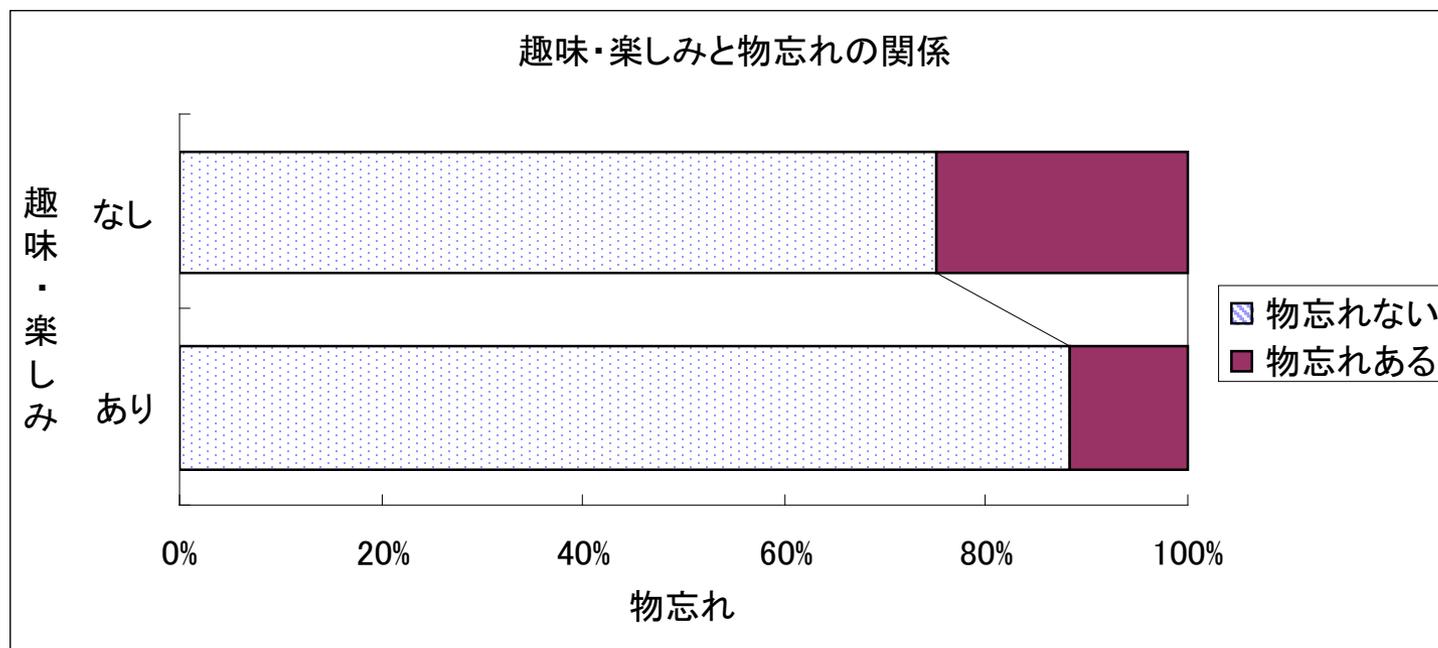
水分摂取と物忘れの関係



・水分を多く取る人ほど「物忘れがない」という傾向がある

有意差あり(p<0.05)

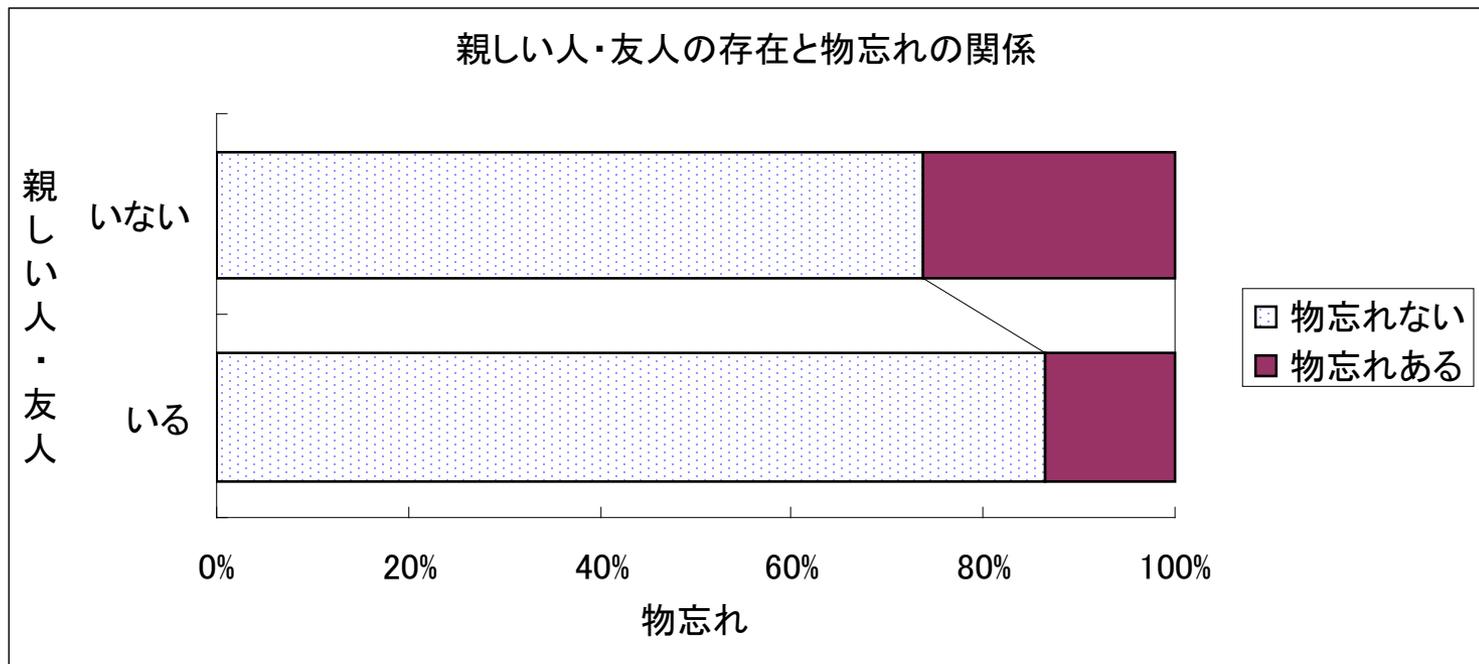
趣味・楽しみと物忘れの関係



有意差あり(p<0.05)

- ・趣味・楽しみがある人ほど物忘れがないという傾向がある

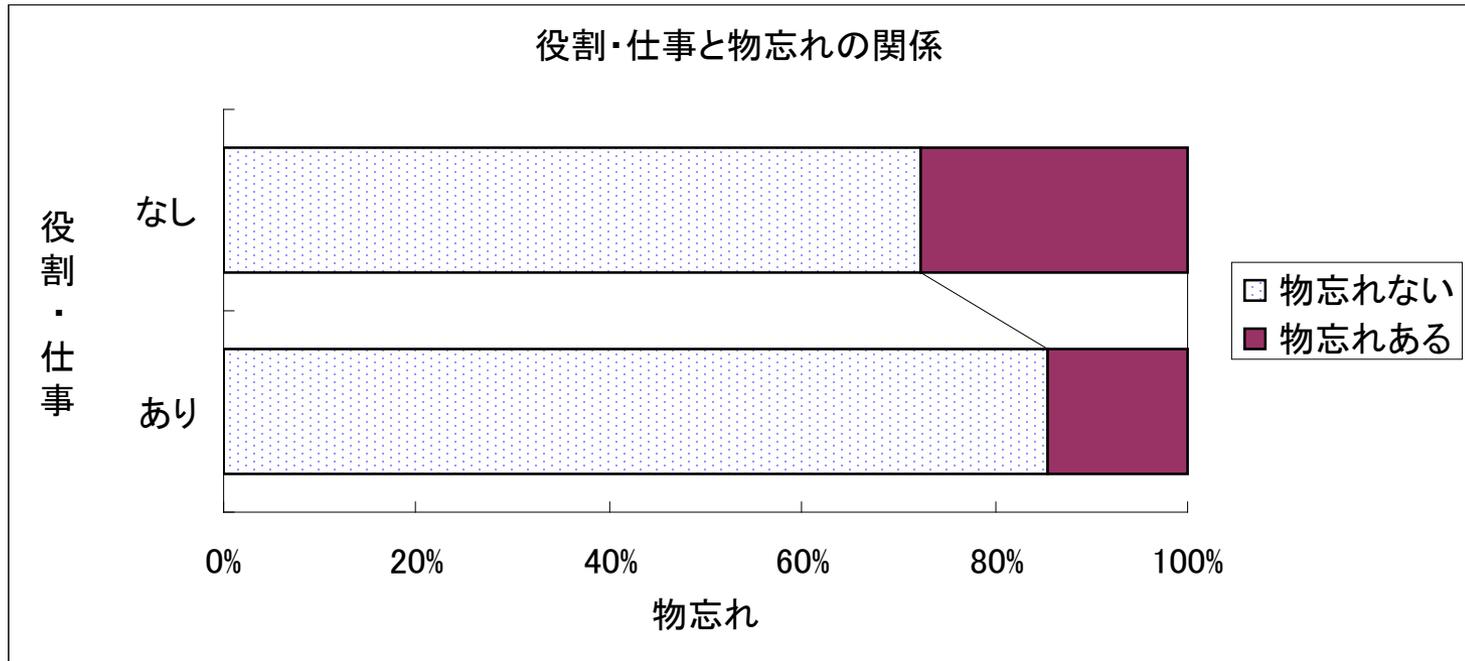
親しい人・友人の存在と物忘れの関係



有意差あり($p < 0.05$)

・親しい人・友人がいる人ほど物忘れがないという傾向がある

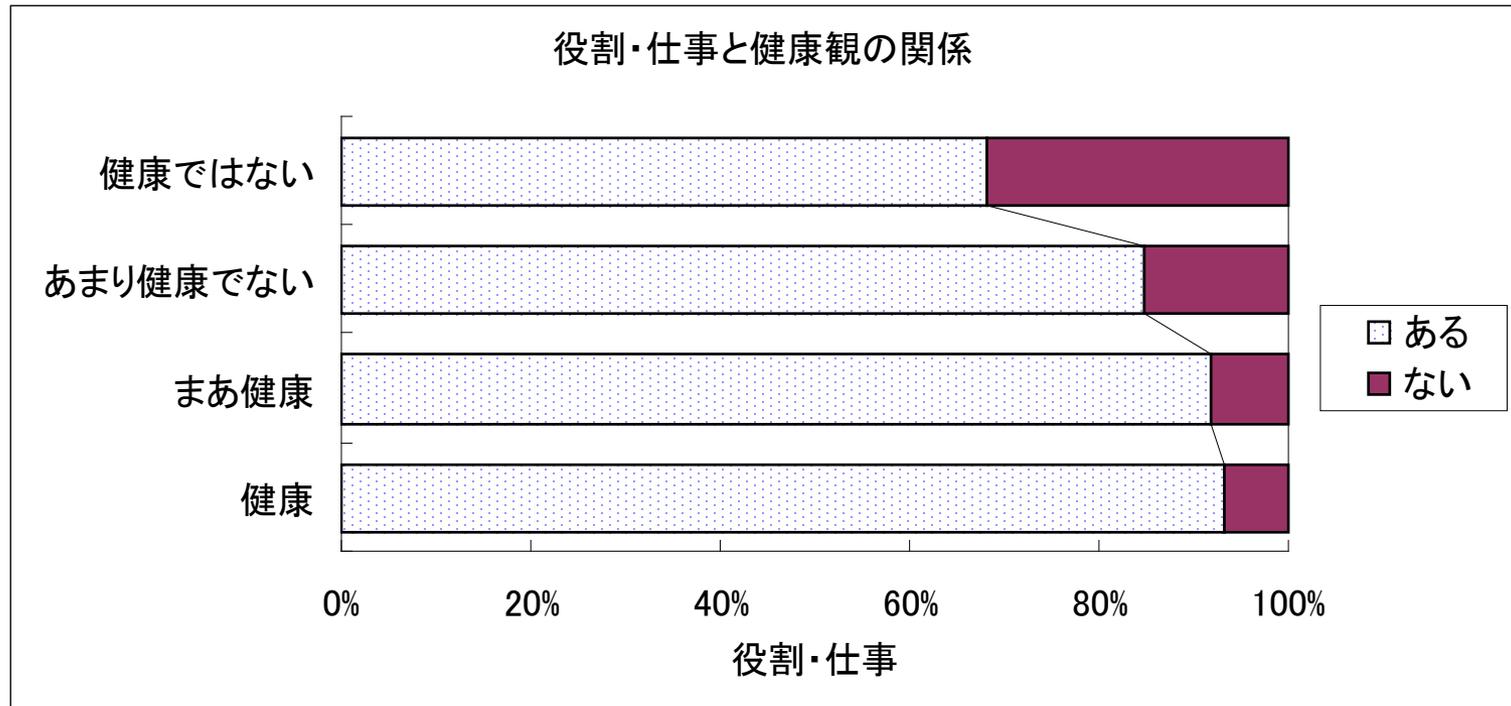
役割・仕事と物忘れの関係



有意差あり($p < 0.05$)

- ・役割があると回答している人は物忘れがないという傾向にある

役割・仕事と健康観の関係



・役割仕事がある人は健康観が高い傾向にある

鳥取県琴浦町の取組み

(介護保険特別会計)
地域支援事業

介護予防事業

- ・介護予防特定高齢者
- ・介護予防一般高齢者

包括的支援事業

- ・総合相談支援事業
- ・権利擁護事業
- ・包括的・継続的ケアマネジメント

任意事業

- ・家族介護支援事業
- ・その他の事業

地域支援事業以外の高齢福祉事業(一般会計)

- ・外出支援サービス
- ・緊急通報装置設置事業
- ・配食サービス
- ・居住環境整備事業
- ・支え合いコーディネーター
- ・健康づくりウォーキング事業

- ・特定高齢者把握事業
生活機能評価、認知症の早期診断
- ・通所型介護予防事業
特定高齢者筋力向上トレーニング事業
介護予防教室
- ・特定高齢者施策評価事業

- ・介護予防普及啓発事業
認知症、低栄養、口腔機能
一般高齢者筋力向上トレーニング事業
温泉水利用事業、健康づくりウォーキング事業
- ・地域介護予防活動支援事業
高齢者サークル活動支援事業

- ・介護予防プラン作成事業
- ・高齢者実態把握事業
1人暮らし高齢、夫婦高齢世帯、見守りの
必要な高齢者の随時・定期訪問
- ・高齢者虐待防止事業
ネットワーク構築、認知症対策委員会

- ・家族介護支援事業
家族介護教室(ことうら家族の会)
介護用品購入費助成事業

- ・生活管理指導事業
生活管理指導員派遣・短期宿泊事業
- ・成年後見制度利用支援事業

22年度の方針

- ①介護予防事業の充実—介護予防教室、琴浦体操
- ②認知症対策の推進—サポータ養成、徘徊模擬訓練
- ③地域ニーズ調査に基づいた介護予防の取り組み

琴浦町の介護予防事業

二次予防

～高齢者の自立支援をめざして～

○認知症になっても安心して暮らしていける地域づくり

- 1) 認知症対策委員会の設置と開催
- 2) 認知症の早期発見と予防教室
 - ① 認知症の早期発見のための検診
一次検査「ひらめきはつらつ教室」、二次検査
 - ② 認知症予防教室「はればれ」
- 3) 普及啓発
フォーラムの開催、小学生との交流
介護家族のつどい、認知症を考える会

○パワーリハビリテーション

- 1) 特徴 6機種 of 専用マシンを使用したトレーニング
- 2) 実施体制 事業所に委託
- 3) 回数 週2回(火・金曜日の午後) 1回当たり1時間30分
- 4) 希望者に対しては送迎あり
- 5) 利用料 1回200円
- 6) 実施期間 1クール3ヶ月間で年間6クール実施
- 7) 初回オリエンテーションと24回のパワーリハ実施
- 8) 奇数月に開始し、1グループ10～12人で実施
- 9) 年間60人で契約



琴浦町の介護予防事業 一次予防 ～さらなる高齢者の自立支援をめざして～

○高齢者向けパワーリハビリテーション

早期に運動器の機能低下を予防し、活動的な生活の継続を目指すために対象を拡大した。

○温水を利用した介護予防事業

膝や腰に負担の少ない水中で行える機能訓練として導入した。



○健康づくりウォーキング

「老化は足から」重要な生活機能である歩行機能の維持向上を図り、将来的な閉じこもりを防ぐことを目的として開始。ウォーキングする人を増やす、ウォーキングをする人を支援するなど。



琴浦町の介護予防事業

一次予防

～さらなる高齢者の自立支援をめざして～

○高齢者サークル活動支援事業

高齢者5人以上(要援護高齢者1名以上を含む)で週1回定期的継続的に活動するサークルを支援する事業。

介護予防において最も重要である閉じこもり予防を、地域での支え合い、趣味・生きがい作りとあわせて行っている。



○琴浦体操の創作と普及啓発

健康実態調査の結果、多くの高齢者に運動器の機能が低下しているという結果が得られ、誰でもどこでもできる介護予防として体操を創作。

DVD等普及媒体を作成し、配布、実演のために町内で実施した。



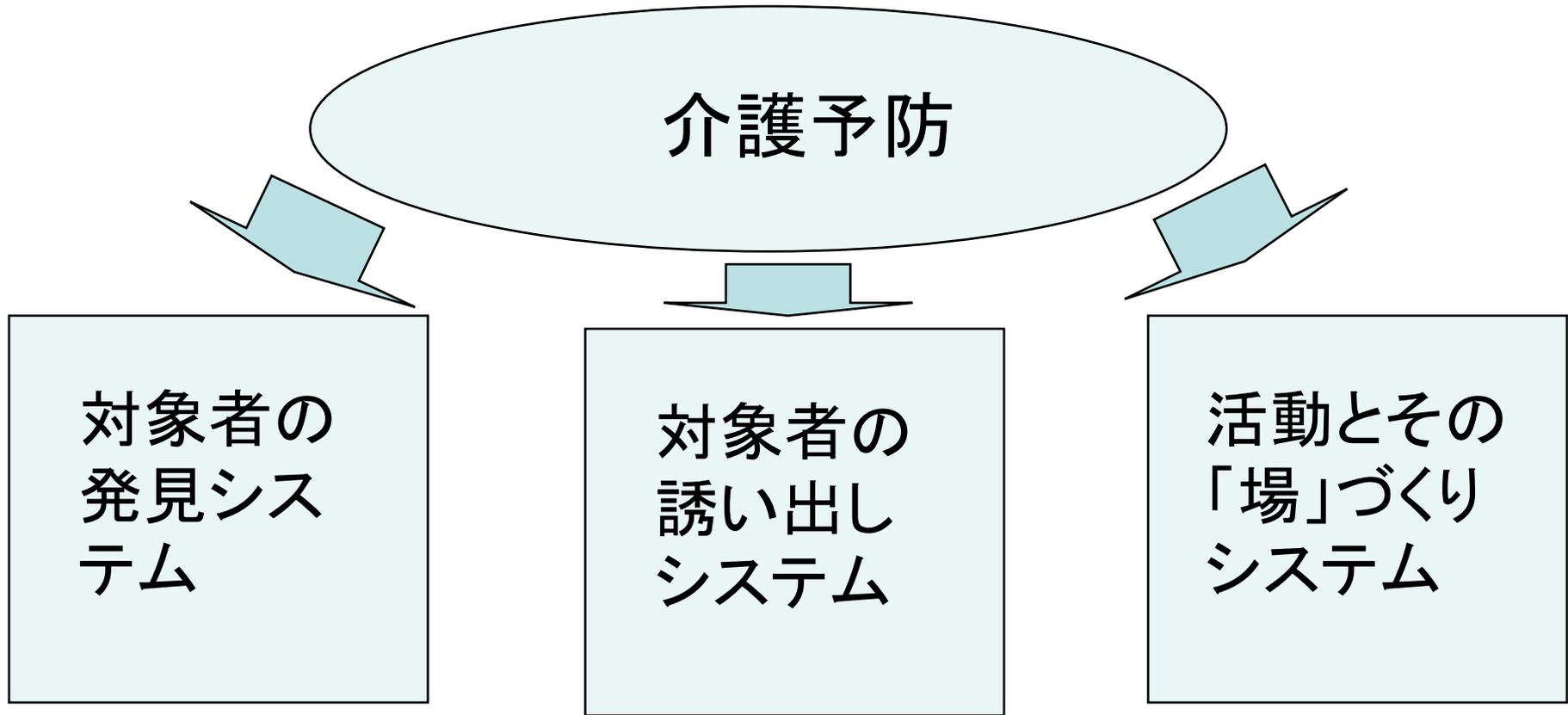
○介護予防フェスティバル

21年度第1回開催。町として介護予防に取り組むことを宣言。

健康実態調査の結果報告、実際に町の事業に取り組み、元気になった高齢者自らが体験発表するなど介護予防意識の高揚に努めた。



介護予防とは



※高齢者健康実態調査の実施。

※高齢者サークル事業への支援により、ハイリスク者を誘い出す仕組みと、社会的に孤立させない場づくりを確保する。

地域包括ケアの実現

日常生活圏域ニーズ調査により

日常生活圏域単位で高齢者の実態像・
ニーズや地域の課題を把握し、

- ① 個々の高齢者の状態にあった介護予防事業を実施
- ② 介護・医療・住まい・生活支援サービスなどを総合的に提供
- ③ 介護保険計画に反映

※高齢者健康実態調査の情報還元により、自助・互助の機運を高めることも狙っている